

# 1 『復讐サロン』

2 ※実際の作品とは微妙にセリフが異なる点があります

## 3 ■キャラクター

### 4 ●東江トウマ（焼き飯太郎さん）

5 身長：190センチ

6 年齢：25〜26歳

7 女を殴る系暴力男。

8 世間知らずのヒロインを「お前を守るためだ」と言って軟禁し、奴隷労働を強い、ヒロ  
9 インが反抗的な様子を見せると殴って黙らせていたが、ついに「俺の恋人」と言っ  
10 て別の女を部屋に連れてきたうえ、「こいつはうちの専属の奴隷だから」とその女の世話ま  
11 でさせたせいで復讐される。

12 ヒロインのことは「お前」とか「ブス」とか「奴隷」と呼んでいた。

### 13 ●コンシェルジュ

14 苦しめられた女性の復讐をサポートする優しい人。

15 男をさらって身動きが取れない状態にして拷問する機材もそろえてくれるいい人。

1 ■共通プロローグ ウエル、ウエル、ウエル

2 なんてことのないリラクゼーションサロンの一室に訪れるヒロイン。  
3 そこは非合法的な復讐の手伝いをしてくれる、女性専用のサロンだが、とてもそうとは思  
4 えないほどやさし気で、穏やかなコンシェルジュが出迎えてくれる。  
5 心傷つき、怒りに燃え、しかし常識と不安によって復讐に踏み切れずにいるヒロインを、  
6 コンシェルジュは優しく、ヒロインにとって本当に選ぶべき選択へと導いていく。  
7 うさんくさい感じにならないよう、優しくしたわるように。

8  
9  
10 SE：ドアが開く

11 SE：ドアベル

12 BGM：心地よいカフェ

13  
14  
15 【6 遠めに】

16 コン「いらつしやいませ。

17 ご予約のお客様ですよね？

18 お待ちしておりました。

19 どうぞ、こちらのソファに」

20  
21 SE：足音

22 SE：ソファに座る

23  
24  
25 【1】

26 コン「さあ、聞かせていただけますか？

27 あなたがどれほど苦しめられたのか。

28 どれだけ怒りを抱き、憎しみかられ、

29 そして、どれほどの勇気を振り絞ってここに来たのか。

30 資料は事前にいただいていますか……

31 お客様の口から、直接聞かせていただきたいのです」

32 【コンシェルジュ、立ち上がり、ヒロインの正面を行ったり来たりしながら】

33

34

35

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35

【ヒロインの前を行ったり来たりしながら、最後に背後に立つ】

コン「ご存じの通り、当店は少々過激な方法によって、  
お客様の心のケアをお手伝いしております。  
お客様のようにより優しい方は、  
その過激さに耐えられないことも多い。  
ですが、報いを受けるべきクズというのは、  
この世界に存在する」

【4 背後から囁く】

コン「あなたを苦しめた、あの男のように」

【4 耳元で】

コン「さあ、思い出してください。  
あなたが一体何をされたか。  
それを話してもまだその男を許せると思った時は、  
どうぞお帰りになってください。  
けれど、やはり許せないと思ったときは——ふふ。  
目にももの見せてやりましょう」

【6】

コン「わたしと、あなたで——ね♡」

## ■トラック1 東江

家で家事にいそしんでいるヒロインの元に、東江が帰ってくる。今日はいつになく機嫌がいいなど思っていたら、女が部屋にやってくる。  
その女に「このブス、うちの奴隷」と紹介され、今まであらゆる仕打ちに耐えてきたヒロインはついに部屋を飛び出す。

場所・安アパート

時刻・夕方

【東江、いつもより早めにアパートに帰ってくると、ヒロインは家事の真っ最中。いつもなら「仕事が遅い」といって殴るところだが、今夜は部屋に女が来るので殴らない】

SE:掃除機をかける音

SE:ドアが開く

SE:近づいてくる足音

【13】

東江「おい。」

おいっつてんだろ！ 返事しろブス！

SE:掃除機の音ストップ

【東江に怒鳴られ、驚いて振り向くヒロイン】

【6】

東江「おまえさあ……ご主人様が帰ってきてんのに、

なんでおかえりなさいも言えねえの？

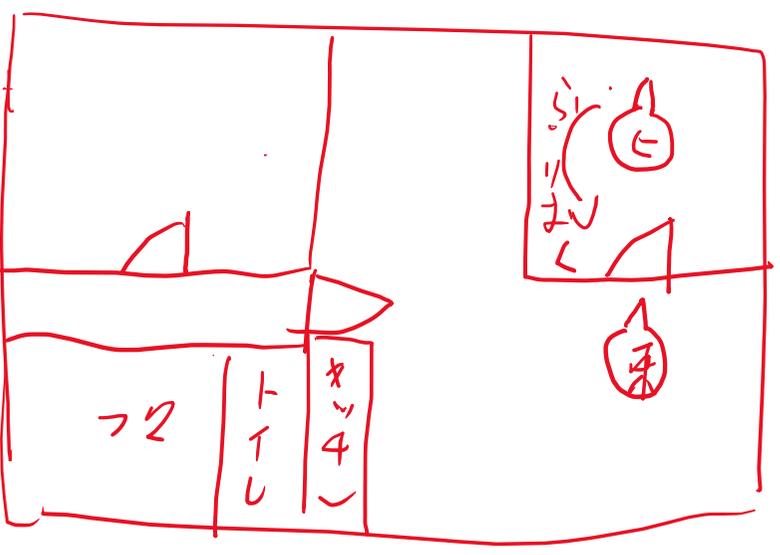
お前、自分の立場わかってる？」

【ヒロイン「掃除機の音で聞こえなくて」】

東江【威圧するように】あ!?! 何!?!

だれが言い訳していいつつた!?!

悪い事したらごめんなさいだろ!?!」



1  
2  
3 【ヒロイン「ごめんなさい」】

4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36

【6】  
東江「ん。そうそう。ちゃんと謝れるじゃねーか。  
ほらこちこい」

SE:ヒロインの足音

【1】  
東江「よし、いい子いい子。  
いいか？ お前が最初からちゃんと素直に謝ってりや、  
俺も怒鳴ったりしなくてすんだんだ。  
次からはちゃんと、悪いことをしたら、  
言われる前に謝るんだぞ。  
でないと……」

【3 耳元】

東江「わかるよな？  
もう、うっかり骨折とか、嫌だろ？」

【ヒロイン、怯えてうなづく】

【1】  
東江「機嫌よく」よし。これで仲直りだ」

【1→15→13】  
東江「周りを見回し」まだ掃除の途中か？  
【背を向け】ベッドのシーツは新品？」

SE:歩きまわる東江

【6 ヒロインを見ながら】  
東江「酒はちゃんと買ってきてあるよな？  
つまみの用意は？」



1 【6→11↓13】  
2 東江「あー、答えなくていいわ。  
3 自分で確認する」

4  
5 SE:東江の足音  
6 SE:冷蔵庫開ける

7  
8 【9 ヒロインに背を向けながら】  
9 東江「ふーん。まあ、こんなもんか」  
10

11 SE:冷蔵庫閉める

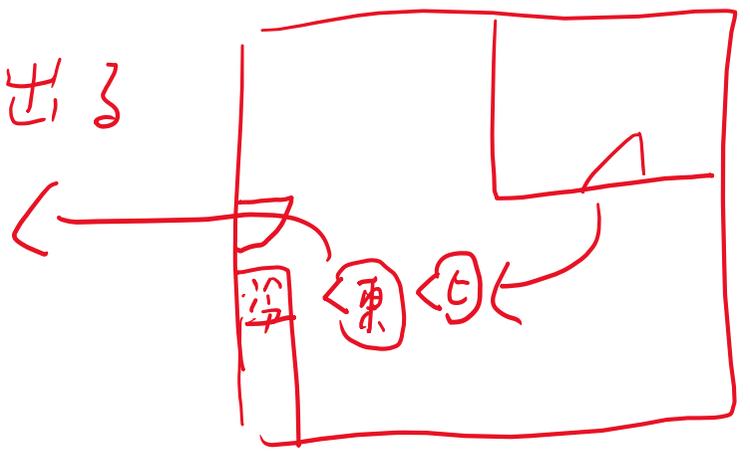
12  
13 【9 ヒロインを見て】  
14 東江「あ、そうだ。お前今日は風呂入らなくていいから。  
15 今夜はお前の穴つかわねーし。  
16 掃除の仕上げに、雑巾でも絞って体ふいとけば？  
17 なんてな！ ばーか、冗談だよ。  
18 明日の夜は使ってやるから、  
19 その時念入りに洗っとけ」

20 SE:チャイム

21  
22  
23 【9 軽くヒロインを見て】  
24 東江「お、きたきた。  
25 ああ、お前はいいから、そこで正座してろ。  
26 俺がよしって言うまで動くなよ！  
27 【玄関に向かって】ちよい待ち！ 今出る！」  
28

29 SE:遠くから足音

30  
31 【玄関で、部屋に呼んでいた女に対応する東江。ヒロインに対するときより明るく、威  
32 圧感低めの声でお願いします】  
33  
34  
35  
36



1 【9 ヒロインに背を向けて】  
2 東江「お待たせ。来るの早かったなあ。  
3 コンビニよるとか言ってたなかったか？  
4 まあいいや、靴脱いで上がれよ。  
5 お前が信じなかった話、本当だってわかるから」  
6

7 SE:近づいてくる足音一人分  
8

9 【9 上から】

10 東江「じゃーん。これが俺の専属奴隷。  
11 おいブス、俺の恋人に挨拶しろ」  
12

13 【ヒロイン「彼女って……？」】  
14

15 東江「なんだよ、その間抜け面。  
16 ご主人様に恥かかせる気か？  
17 挨拶しろっつってんだろ！」  
18

19 【ヒロイン、慌てて挨拶する】  
20

21 【9 横を見て】

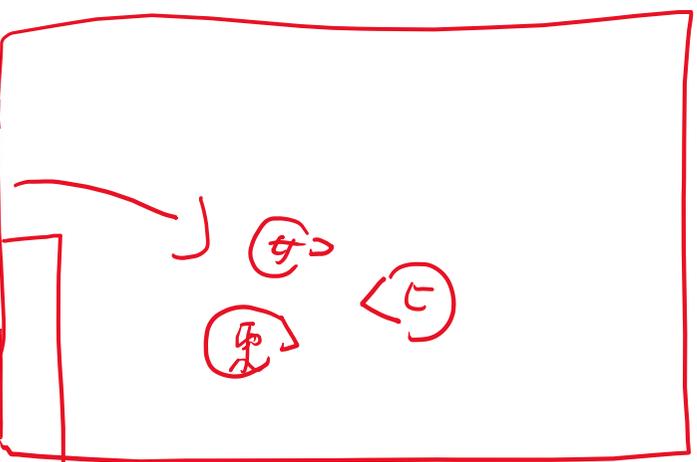
22 東江「な？ 奴隷だろ？  
23 こいつ俺に惚れててさあ。  
24 毒親育ちで常識もないし、  
25 学もないから就職もできねえし、  
26 哀れだから俺が養ってやってんだ」  
27

28 【9 ヒロインを見て】

29 東江「じゃあ、お前はもう引っ込んでいいから。  
30 仕事ができるまでクローゼットで静かにしてる。  
31 あ、そうそう」  
32

33 【東江、正座してるヒロインの前にしゃがみ込み、耳打ちする】  
34

35 SE:しゃがむ衣擦れ  
36



1 【7 耳元】

2 東江「お前まさか、自分が俺の恋人だなんて勘違いしてねえよな？  
3 俺はちゃんと言ったぞ。お前はただの奴隷だって」

4  
5  
6 東江「次、勝手な思い上がりで、俺の恋人に妙な態度取ったら……  
7 手足の指の骨を一本一本丁寧に折ってやる」

8  
9 【1】

10 東江「じゃ、そういうことだから。  
11 下がっていいぞ」

12  
13 SE:立ち去る足音×2

14 SE:ドアが閉まる音

15  
16  
17  
18 ■場面転換

19 回想を終え、再びサロンへ。

20  
21 BGM:フェードイン

22  
23 【ヒロインを、優しく励ますコンシエルジュ】

24  
25 【1】

26 コン「ああ……おかわいそうなお客様。

27 ですが、あなたには勇気と行動力がある。

28 支配から抜け出し、

29 ここまでたどり着いたのですから。

30 大丈夫。私が、お客様の復讐をお手伝いいたします。

31 やつがあなたに与えた苦痛の報いを、

32 必ずや受けさせましょう」

33  
34  
35

1 ■トラック2 本日のメニュー

2  
3 調理台に拘束した東江を料理する

4  
5 場所：不明

6 時刻：不明

7 ※音の反響なくていいです

8  
9  
10 SE:お湯を沸かす音

11 SE:包丁とんとん

12  
13 【ヒロインが調理の用意をしている背後で、拘束された東江が目を覚ます。キッチンズ  
14 タジオ的な間取りです】

15  
16  
17 【14】

18 東江「【寝起き】ん……んん？ なんだ？」

19  
20  
21 SE:拘束具がちやがちや

22  
23 東江「【困惑して】は？ おい、なんだよこれ……！  
24 どうなってんだ……!?!」

25  
26 【ヒロイン、東江に振り向く】

27  
28 【6】

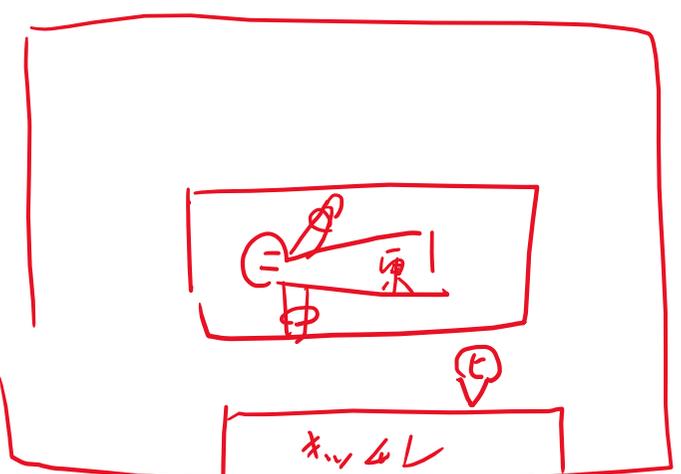
29 東江「おいブス！

30 てめえがやったのかこれ!?

31 外せよ今すぐこれ全部!」

32  
33 SE:拘束具が激しくがちやがちや

34  
35



【16】

東江「つか、今更なんだよ！

養ってやってたのに、金盗んで消えやがって！

ぶっ殺してやるからな！」

【ヒロイン、何も言わずに肉タタキを取り出す】

SE:重ための金属音

東江「えあ？ おい、おまえ……

それ……どうする気だ？

なんだよ……何か言えよ！

ちよつと待てよせやめるやめろつて！」

【肉タタキを東江の手に叩きつけるヒロイン】

SE:ぐんぐん

SE:骨が碎ける

SE:肉が潰れる

東江「ぎやあああああ！

ああああ！ ああああああああ！

手が！ 俺の手が……！」

【一通り叫びますが、アドレナリンで痛みはある程度マヒするので激怒に転じてくださ  
る】

東江「ぶっ……ざけやがってこのクソ女！

仕返しのもりか!?

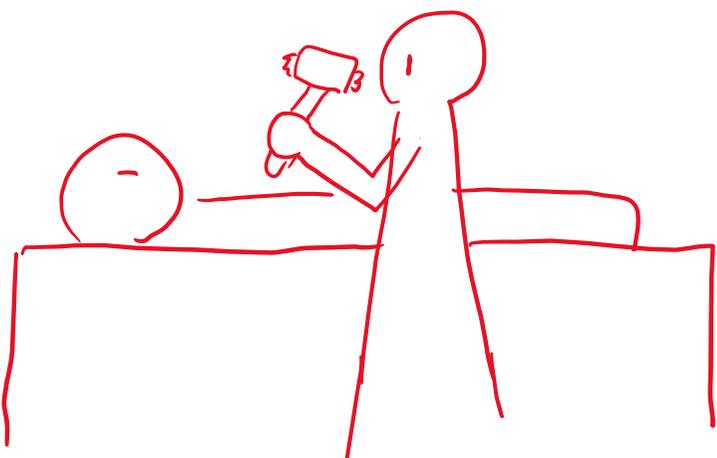
ブスで馬鹿な無能のくせに、

逆恨みしやがって！

てめえで喜んで俺の奴隷やってたんだろうがよ！」

【肉タタキを4回連続で東江の手に叩きつけるヒロイン】

SE:骨付き肉を叩いてミンチにする音



1  
2 【16】

3 東江「ああああ！ ああああああ！？」

4 やめろ！ やめる馬鹿！ 手が潰れちまう！

5 やめろっておい！ 話聞けよイカレてんのか！？」

6  
7 【ヒロイン「ハンバーグ、好きだよね。今作るから】

8  
9 【9】

10 東江「……は？ ハンバーグ……？」

11 【ようやく恐怖が来る】何言ってるんだよお前……

12 それ、俺の肉で作るって言ってるのか？

13 なあ……！！ なあ！」

14  
15 【ヒロイン「まだお肉が足りないね】

16  
17 SE:ヒロインの足音

18  
19 【15↓16】

20 東江「待ってくれ！ 右手はやめてくれ！

21 両手とも潰されたら【潰される】ぎゃあああああ！」

22  
23 SE:ぐえー

24 SE:骨が碎ける

25 SE:肉が潰れる

26  
27 東江「ああ……ああ、ああああ……！！

28 【泣き出す】なんでだよ……！！

29 なんでこんなことすんだよ!?

30 俺がお前に何したってんだよ！」

31  
32 【ヒロイン「すぐご飯になるからね】

33

34

35

36



1 【16】  
2 東江「話を聞けよ！ 聞いてくれよ、頼むから……！！  
3 自分の肉で飯なんて作ってほしいわけねえだろ！  
4 俺をどうしたいんだよ！  
5 なぁ、謝るよ……！ 全部謝るから！」

6  
7 【ヒロイン、ミンチになった東江の手の肉を包丁で切り取る（左手）】  
8

9 SE:包丁で肉を切りとる

10 SE:ボウルに移す

11  
12 【16↓11】

13 東江「えぁ……？ それ……  
14 その肉、俺の手か……？ なんでそこに……？  
15 切り取ったのか!？」

16  
17 SE:ヒロインの足音

18  
19 【11↓16】

20 東江「お、俺の手……返せよ、俺の手！ 俺の手だ！  
21 返せよ！ 返せ返せ返せ！」

22  
23 SE:拘束具が激しくがちやがちや

24  
25 【ヒロイン、ミンチになった東江の手の肉を包丁で切り取る（左手）】

26 SE:包丁で肉を切りとる

27 SE:ボウルに移す

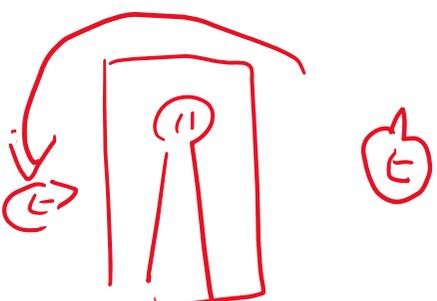
28  
29 【14で痛みをこらえる吐息に、時々アドリブで悪態と懇願アドリブで入れつつ2分程  
30 度ください（生焼けハンバーグができる時間）】  
31

32 SE:ハンバーグの材料混ぜ合わせる音

33 SE:ミンチ肉をまとめる

34 SE:焼へ

35  
36



1 【ヒロインの注意が東江からそれ、料理に向いたので、少し余裕が出てなんとか状況を  
2 打開しようとする東江】  
3

4 【14】

5 東江「なあ、俺が新しい女作ったからか？

6 だから怒ってんの？

7 そんなの、今すぐにでもわかれる。

8 お前を嫉妬させようと思っただけなんだよ。

9 なのにお前がいなくなって、俺……」

10  
11 東江「なあ、やり直そう。

12 俺、お前が嫌なこと全部なおすから。

13 調子に乗ってたんだ！

14 お前が何でも許してくれるから、

15 お前には何してもいいんだって……

16 でも、ちゃんとわかったから！

17 お前が怒ってるんだって、ちゃんと……！」

18  
19 SE:火を止める

20 SE:フライ返しで肉を皿に

21  
22 【ヒロイン「焼けたよ〜」と、焼けた肉をもって振り向くヒロイン】  
23

24 【6】

25 東江「え？ や、焼けたって……

26 だってそれ、俺の手の肉だよな……？

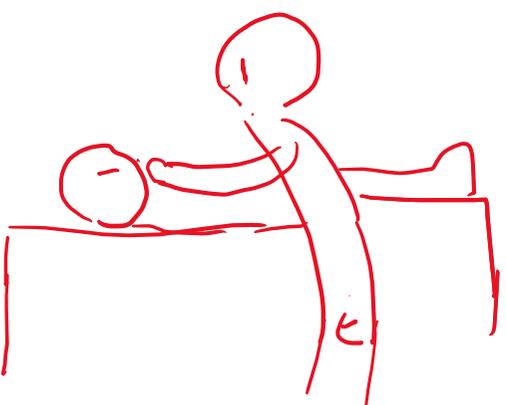
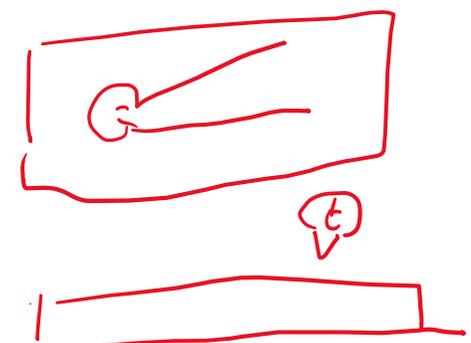
27 無理だ。食えない。

28 嫌だ！ 食えない！ 食いたくない！」

29  
30 【東江、口をこじ開けられ、焼いた自分の肉を食わされる】  
31

32 東江「あ、あが……！ う、うぐ……うぐうう……！」  
33

34 【ヒロイン「別の料理作る？」】  
35  
36



1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36

【9】  
東江「必死に呑み込む」  
はあ……はあ……お、おえ……  
おえええええ……！」

SE:嘔吐

東江「げほ……げほ、げほ……」  
【すすり泣きながら】もう、やめてくれ。  
助けてください……お願いしますから……！」

【ヒロイン「そろそろ時間だ」と言って東江に背を向ける】

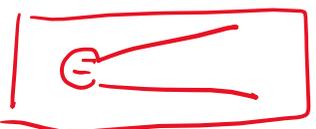
【5→13 離れながら】  
東江「時間？ 時間って……？」  
おい、どこ行くんだよ……！  
これ外してから行けよ！  
おい！ おい！  
戻ってこい！ 戻ってきてくれ！ 頼む！  
ここに置いて行かないでくれえ！」

SE:拘束具がちやがちや  
SE:背後でドアしまる

【ドア向こうでコンシエルジュが待っている】

【1】  
コン「お疲れ様でございました。  
お気持ちは晴れましたか？  
あとのことは、我々にお任せください。  
当社は残飯処理も得意ですので。  
けれどもし、死なせたくなきとお思いでしたら、  
お早目のご決断を。  
食材は鮮度が命。あまり放置してしまえば、  
使い道もなくなってしまうから」

出211く  
← (7) ←



### ■トラック3 共依存

1  
2  
3 【1】  
4 コン「優しく」そうですか。彼を、お許しになるんですね。  
5 ああ、心配には及びません。  
6 一人で生活するのは難しいですが……  
7 あなたの愛と献身があれば、十分に生きていけるでしょう。  
8 お届け先は、ご自宅でよろしいですか？  
9 それではどうぞ、お幸せに」  
10

### ■場面転換

11  
12  
13 両手をうしなった東江を、献身的に支えるヒロイン。二度と自力で外出することができ  
14 なくなった東江は、ヒロインのよき夫として生き続ける。

15  
16 【ヒロインが食事の支度をし、東江の部屋まで給仕に行く】

17  
18 SE:食器の音

19 SE:ドア開ける

20  
21 【6】

22 東江「ん？ ああ、もう飯の時間か……」

23 ありがとう、食べるよ」

24  
25 東江「そう、本を読んでたんだ。

26 タブレットなら、指がなくてもページがめくれるから。

27 お前がセッティングしてくれたおかげだよ。ありがとう。

28 車いすも、少しの距離なら自力で動かせるようになった。

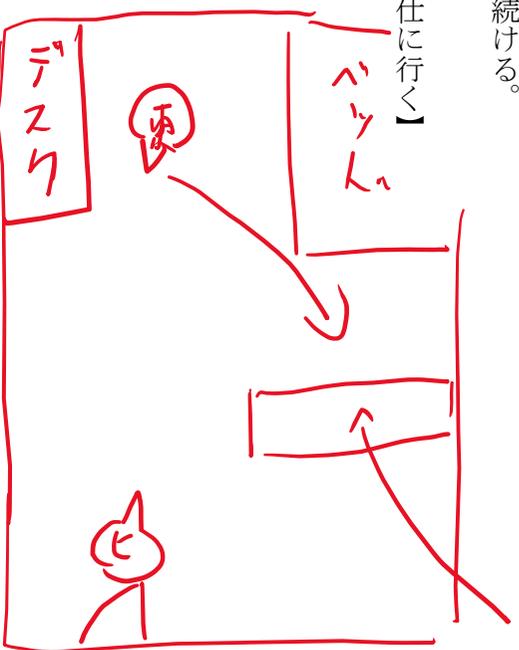
29 見てろよ？ そこまで自分で移動するから」

30  
31 【ヒロイン、食事をセッティングし、東江に食事をさせる】

32

33 SE:テーブルに食器を置く

34 SE:自走式の車いすが近づいてくる



ここに  
食事

1  
2 【1 ヒロインを見ながら】  
3 東江「ほらな？ うまいもんだろ」  
4

5 SE:食器の音

6 【1 横を見ながら】  
7

8 東江「ああ、いい匂いだ。」

9 これ、ジャガイモのスープ？

10 お前、ほんと料理上手だよな。

11 肉料理が食べなくなった俺のために、

12 あれこれ色々考えてくれて……

13 【食べる】ん、これもすげー美味しい」  
14

15 東江「なあ、これ食い終わったらさ……」

16 その……お前が嫌じゃなかったらなんだけど……

17 久々に……したいなって」  
18

19 【ヒロイン「いいよ」】  
20

21 【1】

22 東江「本当に？ よかった……！」

23 仕事しながら俺の面倒みさせてるし、

24 疲れてるかなって思ってたんだけど【喋ってる途中でキスされる】。  
25 ん……う……」  
26

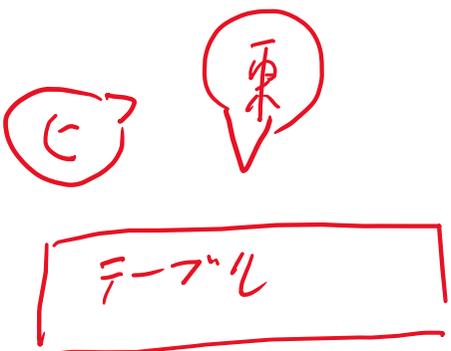
27 東江「あー……ほら、そんなエロいキスするから……」

28 まだ食い終わってないのに、たちまった」

29 なあ、飯食う方を後にしていいか？」  
30

31 【ヒロイン「はいよ」】  
32

33 東江【「いそいそと」】ちょっと待って。体そっち向けるから。  
34 で、ほら。俺の上ののって」  
35  
36



1 SE:車いす回す

2 SE:衣擦れ

3 SE:車いすの軋み

4  
5 東江「ごめんな、俺、手がこんなだから、  
6 ちゃんと触ってやれなくて」

8 【1】

9 東江「その分、たくさんキスするよ。

10 おまえがしてほしい分だけ、

11 してほしいところに。ん……」

13 【30秒ほどディープキス】

15 東江「ほら、耳、こっちに向けて」

17 【7 耳元】

18 東江「舐めながら、お前のなかに入りたい。

19 俺もお前を喜ばせられてるって、

20 感じたいんだ」

22 【1分程度7の位置で耳舐め】

24 東江「感じる？ 濡れてきたか？

25 欲しくなったら、そのまま腰落として」

27 SE:触れる水音

28 SE:ゆっくり挿入

30 東江「あ、すっげ……もうこんなぬるぬるで、

31 熱くて、あ……奥まで、ああ……ッ

32 腰、勝手に動いちゃう……ああ……ッ」

34 SE:出し入れする水音

35 SE:肉を打つ音

36

1 【吐息のみ1分程度】

2 東江「ああ、気持ち……

3 イキそう？ ごめん、俺はもうちよい……

4 ごめん、もう少し付き合っ

5 て。ごめんな、ごめん」

6 【吐息のみ1分程度】

7 【7 耳元】

8 東江「あゝ……縮まるッ……これ、ぎゅうぎゅう縮まって……

9 すげーいい……ああ……！」

10 【終わりに向かう激しめの吐息 秒数お任せしますのでやりやすいタイミングで終わ  
11 らせてください】

12 東江「はあ……はあ……

13 ……ん？ 飯？

14 ああ、食うよ。腹減ったし、せっかくお前が作ってくれたんだし。

15 でも、もう少しこのまま。

16 このままでいさせてくれ。」

17 東江「こうして抱き合っていると、落ち着くん

18 だ。両手がないのも、足が動かないのも、

19 内臓が足りないのも、全部忘れて……

20 お前と俺が一つになったみたいに思える」

21 東江「あんなことがあったのに、

22 俺を捨てずにいてくれて、ありがとうな。

23 愛してるよ、俺の奥さん」

24 END